



第23号

Pearlland Hospital

パール通信

医療法人 猪鹿倉会 パールランド病院



通信のご案内



- 誕生会再開しました
- Dr.によるミニコラム：「オーラルフレイルとは？」
- Nrs.によるミニコラム：「感染症は持ち込まない、持ち出さない」
- 部署紹介(看護部長室)
- 院内食堂紹介

♪ Happy Birthday ♪ 誕生会再開しました

当院は患者さんをお祝いするために毎月、『誕生会』を続けております。開院当初は病棟単位で職員が中心になり、餅つきやスイカ割り、踊りなど患者さんだけでなくご家族とともにゆっくり楽しく過ごせる時間を設けておりました。この37年間の間に少しずつ変化し、地域のボランティアの方々にもお手伝いいただく場面もあり、患者さんや私たちも楽しく過ごせる日がこの誕生会でした。2020年からの新型コロナの影響でこの『誕生会』はしばらく中止となりました。

新型コロナが5類に移行したことをきっかけに、2024年4月より、リニューアルした『誕生会』を再開しました。今までの集合開催ではなく、こちらから各病棟に出向き、出前形式にしてみようということになりました。看護部だけではなく、事務科や診療技術部などのコメディカルメンバーがそれぞれ参加し、各病棟お1人お1人のもとに、病院からのお花とお祝いの言葉を届けます。寝たきりで過ごされていた方も私たちがHappy Birthdayの歌を歌い、写真撮影をすると、目を開けて「ありがとう」と言って下さったりします。今まで、病棟の中に入っていなかった部署の方から、患者さんのうれしそうな笑顔を目の当たりにすると、「参加してよかった。元気を頂きます。」の感想をもらいます。その日の写真は後日、病棟師長が近況を添えた便箋と一緒に、ご家族へ送っています。ご家族からは、「誕生日の写真が届いて、とても嬉しかったです。」というお声を頂いております。患者さんが1年に1回の大事な日を迎えられることをともにお祝いし、笑顔で過ごせるよう、これからも病院の取り組みとしてこの誕生会を開催していきます。



Dr.による

ミニコラム

「オーラルフレイルとは？」

パールランド病院医師 牧角 俊郎

オーラルフレイルとは「口の健康が害されて、嚙んだり飲んだりする機能が衰えて、滑舌が悪くなったり、食べこぼしが増えてくる状態」を言います。物を食べるには、嚙む力と飲み込む力が必要ですが、加齢によって口や喉の筋力が低下し、歯の数が減少すると、この二つの力が弱くなり、オーラルフレイルに陥ります。オーラルフレイルになると、心身の機能や社会的な側面にも影響を及ぼし、健康寿命を損ねることになります。

人間の健康を支える鍵は、ごく身近な生活習慣の中の「**食・動・楽**」にあります。しっかり「食べる」ためには、またしっかり「動き」、生活を「楽しむ」ためには、食べたり話したりして楽しむ時間をできるだけ長く保つために、歯周病や虫歯に適切な治療を行うことは無論のこと、**定期的な口腔のメンテナンスが不可欠**です。かかりつけ医と共に、かかりつけ歯科医も必要です。

嚙めない物が増えたり、食事量が減ったり、体重が減ったり、外出したり人と会うのが面倒になったりするのが、**オーラルフレイルの始まり**です。筋力低下を防ぐためにも、痩せ過ぎず、**栄養バランスの良い食事を摂り**、蛋白質と共にビタミン類をしっかり摂取し、できるだけ外出して**体を動かし**、歌ったり笑ったりして、残りの人生を明るく豊かにするために、楽しいことを優先して実行しましょう。**物事を楽観的にとらえて、明るく振舞いましょう**。そうすることで、自分だけでなく、周りの人たちも含めて、**健康寿命を延ばすことができる**と思います。



Nrs.による

ミニコラム

「感染症は持ち込まない、持ち出さない」

パールランド病院 3病棟2階 病棟主任 久保 陽平

みなさん、こんにちは。パールランド病院に入職して11年、病棟主任は昨年の1月から務めさせて頂いています。いよいよインフルエンザや新型コロナが流行り出す季節がやってきました。

当院では、院内感染がおこらないよう病院、病棟の対策に力を入れている所があります。**感染予防**にはやはり、**マスクの着用や手指衛生が大切**です。

スーパーなどの入口の**手指消毒液**は利用しているでしょうか。**ご家庭に持ち込まない、持ち出さない事が大切**です。手指消毒液のノズルは最後まで押し切る事が必要だとされています。また、接触感染の多くは無意識な行動の中にあります。人は、1時間に平均23回、無意識に顔を触っているというデータがあります。**病原体にとって、目、鼻、口から侵入する大チャンスとなるので注意が必要**です。みなさんも感染症に十分気をつけ、寒い季節健康でいられることをお祈りしています。

最後となりましたが、まだまだ未熟者の私ですが、患者様にとって最良の看護の提供ができるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



看護部長室



看護部長
湯永 しおり
(がたなが しおり)

本年度より看護部長に就任いたしました湯永(がたなが)しおりです。現在、高齢化社会となり、社会構造が複雑化していく中で、高齢者専門病院としての当院の役割は、今後益々多岐にわたるものと考えております。当院の看護部では「気づき」「まごころ」「笑顔」をキーワードに理念を掲げています。気づきを大切にして真心のこもった看護・介護を行うことで患者さんだけでなく私たちも笑顔になると信じているからです。

コロナにまつわる様々な困難を経験した私たちは、生きるという意味を改めて深く考えさせられました。どんな困難な状況でも、患者さんに寄り添い患者さんから信頼されるには、働く仲間同士のチームワーク、思いやりも大切です。特に『高齢者を見る』ということは、人として感性高く豊かな人間性を養うことが技術以上に必要であると考えます。

マザーテレサは「私たちは、大きいことはできません。小さなことを、大きな愛を持って行うだけです」と伝えています。患者さんおひとりおひとりが笑顔になり穏やかな療養生活が送れるよう皆で心を込めて支援させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



副部長
高崎 靖子
(たかさき やすこ)

副部長として3年目になる高崎靖子です。「皮膚・排泄ケア認定看護師」の資格を活用し、教育・業務・人材育成等に携わっています。

認定看護師の役割として「実践・指導・相談」があり、褥瘡チームの育成、体圧分散寝具の管理、褥瘡ケアに関する相談、コメディカルメンバーとの連携を担っています。褥瘡が発生すると回復には長い年月がかかります。リスクが高い方に予防から介入し、看護・介護ケアの充実を図ることを目標に、これからも密に多職種と連携を取り、活動していきたいと考えています。



(写真左から 高崎副部長・湯永看護部長・山形副部長)



副部長
山形 ちえみ
(やまがた ちえみ)

今年度より副部長として主に教育を担当している山形(やまがた)ちえみと申します。医療安全や研修等を通し人材育成を企画していく役割です。高齢者を見る病院として、患者さんがやすらぎを感じながら過ごしていただくために私は特に「コミュニケーション」を大事にしています。職員、ご家族の何気ない心の動きを感じ取りより良いケアにつなげるためです。中でも日々のあいさつはお互いの心の変化に気づききっかけになると考えています。お互いのコミュニケーションがうまくいくことで「笑顔あふれる職場」になるよう取り組んでいきます。



(写真左から 高崎副部長・湯永看護部長・山形副部長)

院内食堂紹介

Cafeteria CHOROを紹介いたします

令和4年8月より院内食堂として営業開始、明和食品さん直営の食堂であります。明和食品と言えば創業昭和51年の老舗で鹿児島の食材を使った弁当や総菜などを主に取り扱って販売など行っております、皆さんもご存じですよね「お客様本位のサービス:お客様のニーズに応じた食事を提供し、信頼される企業を目指します」をモットーに鹿児島に根差した、業界でも有名な企業です。ちなみに、院内食堂「cafeteria CHORO」の名前の由来は猪鹿倉会の猪鹿を(ちょろく)と読むことから短縮して親しみやすい感じで(ちょろ)と呼び、アルファベットで「CHORO」になりました、との事です。



ある1週間の 日替メニュー

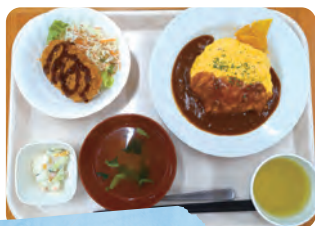
日替メニューは、定食と日替麺の二食があります
ある一週間のメニューは御覧の通り、ボリューム感もありヘルシーですね



おろし天そば・ちらし寿司



肉団子の甘酢あんかけ



オムハヤシ



ちゃんぽん



焼きカレー

定番メニュー

更には、定番のから揚げ定食(大人気!)、野菜炒め定食も同じ日替値段で食べられます。そして、カレーやうどん、そばなども充実しており、日替よりも、お値段もお安くなっております。



から揚げ定食



カレーライス



うどん

たまにサービスで、わかめごはんやおにぎりも食べられ、サラダだけとか、いなり寿司だけとかも注文できて好評です。是非一度ご利用してみたいかがでしょうか

利用時間は平日11時から14時まで土日祝は11時から13時30分までとなっております。



従業員の皆さん、明るくてユニフォームも似合ってますね
休みの日はどうしてますかと聞きましたら韓国ドラマ鑑賞だとか(笑)
職員の皆様の期待に応えられるように頑張りますと明るく答えてくださいました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

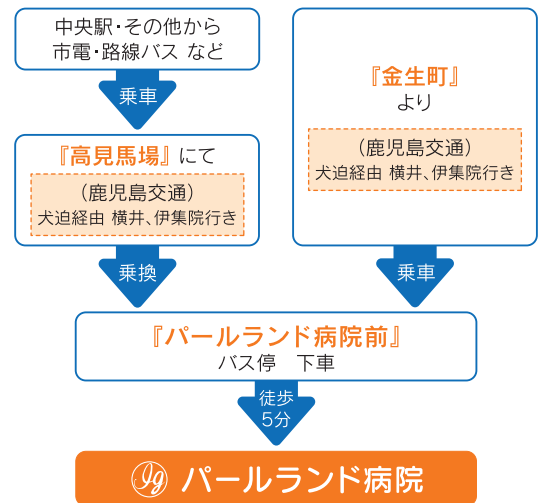
Cafeteria CHORO ご利用をお待ちいたしております

病院概要

病院名称	医療法人 猪鹿倉会 パールランド病院
指定許可	鹿児島県指定 認知症疾患医療センター
開 設	昭和63年3月1日
診療科目	内科 精神科 脳神経内科 リハビリテーション科 歯科 ● 臨床研修協力施設（厚生労働省発医政 第0331051号） ● 消化器がん検診精密検査医療機関証（第0085号） ● 日本認知症学会教育施設認定証（施設 第134号） ● 日本老年精神医学会専門医認定施設（認施 第200092号）
病 床 数	400床 精神病床300床（認知症専門病床200床） 医療療養病床100床
併 設	レストラン 売店 保育所（職員専用24時間対応）
関連施設	指定居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション



アクセス



医療法人 猪鹿倉会



パールランド病院

<https://www.pearlland.or.jp>

〒891-1205 鹿児島市犬迫町 2253 番地

電話／099-238-0301 FAX／099-238-0117

認知症疾患医療センター

電話・FAX／099-238-0168

指定居宅介護支援事業所パールランド 電話／238-0301 FAX／238-0117
 訪問看護ステーションパールランド 電話／245-4555 FAX／245-4556